

出展申請契約

出展者情報

企業名（中国語） _____

企業名（英語） _____

企業住所 _____

宛先（展覧会関連資料の宛先；EMS使用の際は必ず明記） _____

国名 / 都市名 / 郵便番号 _____

展覧会担当者： _____ Mr. / Ms 職位 _____ 法人代表者名 _____

局番 _____ 電話 _____ FAX _____ 携帯 _____ 所属業界団体名 _____

E-mail _____ ウェブサイト _____

 (1) メーカー (2) 取次販売 (3) 輸入業 (4) 代理販売 (5) サービス業（複数選択可）企業本部名（代理販売する海外ブランド名称）、住所とブランド所在国；

インボイスの表記名及び連絡先（上記と同じ場合、記述の必要なし）

出展価格

当社は日本パビリオンへの出展を希望し、申請します

日本パビリオンブース価格	m ²	長さ (m) × 幅 (m)
2,250 人民元/m ² (最小 9 m ²)		

- 屋内では 24 平米以上のブースのみ 2 階ブースを設営でき、2 階ブース価格は 1 階ブース価格の 50%
- ロースペース出展者は、複数のパッケージブースから選択できます。詳細は主催者(または窓口機関)にお問い合わせください。

共同出展者： 各共同出展者は1,800元の共同出展費用を支払う。主催者(または窓口機関)に共同出展申込用紙を請求下さい。

登録・出展する製品は全て自社の保有資産である： Yes No

No の場合、製品の所有企業名と住所をご記入下さい

展示範囲とサービス

添付の用紙に必要事項を全て記入の上、本申請用紙と共に提出して下さい。出展規約と技術マニュアルを熟読して下さい。出展者は出展規約及び技術マニュアルの法的効力を認め、第三者を代表し主催者の展覧会に関する要求を順守して下さい。

出展企業（社印）：

主催団体（社印）：

担当者・法人代表者の署名

担当者・法人代表者の署名

期 日

期 日

企業名（日本語/英語表記）： _____

本ページに必要事項を詳細に記入の上、1 ページ目と共にご提出ください。

複数種類の展示品を展示する場合、以下の選択肢から主な展示品の種類を選んでください。ブースエリア区分の根拠となります。

出展者が展示する展示品は、本展示会の展示範囲に合致するものとします。合致しないと判断された場合、主催者より出展資格を取り消されることがあります。（カタログに掲載される展示品区分表は、出展者マニュアルに掲載されます。）

1) 多種の製品を展示する場合、出展の重点を記入して下さい

2) その他特別な要望（今回の展示会について特別な要望があれば以下に記入して下さい。主催者が最大限対応します）

1 水と汚水処理

- 1.1 機械物理処理工程
 - 1.1.1 沈殿施設
 - 1.1.2 分離装置システム
 - 1.1.3 網棚・柵・濾過器
 - 1.2 化学物理処理工程
 - 1.2.1 脱塩（海水）
 - 1.2.2 軟化装置
 - 1.2.3 脱酸装置
 - 1.2.4 脱塩素装置
 - 1.2.5 除鉄・脱マンガン装置
 - 1.2.6 除菌装置
 - 1.2.7 吸着装置
 - 1.2.8 浮遊選鉱選択装置
 - 1.2.9 凝集・凝固装置
 - 1.2.10 復元装置
 - 1.2.11 熱処理工程
 - 1.2.12 冷却処理工程
 - 1.2.13 電解処理工程
 - 1.2.14 酸化処理工程
 - 1.2.15 消毒装置
 - 1.2.16 脱フェノール装置
 - 1.2.17 中和装置
 - 1.2.18 イオン交換設備
 - 1.2.19 調剤設備
 - 1.2.20 水処理化学品
 - 1.2.21 破砕機
 - 1.3 生物化学処理装置
 - 1.3.1 活性汚泥装置（システム）
 - 1.3.2 曝気設備
 - 1.3.3 酸素曝気装置
 - 1.3.4 ブローワー
 - 1.3.5 トリックリングフィルター
 - 1.3.6 浸水式濾過器
 - 1.3.7 生物除リン装置
 - 1.3.8 専用バイオリアクター
 - 1.3.9 硝化装置
 - 1.3.10 脱硝装置
 - 1.3.11 嫌気装置
 - 1.3.12 特定微生物
 - 1.3.13 紫外線照射設備
 - 1.3.14 塩化装置
 - 1.3.15 オゾン化装置
 - 1.3.16 ガンマ放射を用いた消毒装置
 - 1.3.17 脱臭装置
 - 1.3.18 滅菌装置
 - 1.3.19 消毒剤と脱臭剤
 - 1.3.20 機能向上用化学製品
 - 1.3.20 汚水池
 - 1.4 膜処理
 - 1.4.1 膜プラント
 - 1.4.2 反浸透膜
 - 1.4.3 ナノ濾過
 - 1.4.4 超濾過（ウルトラ濾過）
 - 1.4.5 微濾過（マイクロ濾過）
 - 1.5 汚泥・残渣処理
 - 1.5.1 汚泥濃縮・脱水
 - 1.5.2 汚泥乾燥
 - 1.5.3 汚泥焼却
 - 1.6 汚泥・残渣利用
 - 1.7 メタン回収・再利用
 - 1.7.1 メタン利用設備
 - 1.7.2 メタン・消化タンク
 - 1.7.3 ガス駆動式エンジン・コンプレッサー

- 1.7.4 メタン発電ユニット
- 1.7.5 気体乾燥器と脱硫器
- 1.7.6 熱電併給ユニット（CHP）
- 1.7.7 廃ガス燃焼器
- 1.7.8 気体浄化
- 1.8 プラント
 - 1.8.1 飲料水
 - 1.8.2 工程用水
 - 1.8.3 雨水利用
 - 1.8.4 廃水
 - 1.8.5 人工湿地
 - 1.8.6 再生水循環利用
 - 1.8.7 コンパクト型システム
 - 1.8.8 資源型衛生システム
 - 1.8.9 養分回復
 - 1.8.10 尿液分離
 - 1.8.11 部品
- 1.9 熱回収、発電・省エネ

2 給水と汚染排出システム

- 2.1 パイプ・パイプ部品
- 2.2 縦井戸・特殊構造
 - 2.2.1 検査・修理孔
 - 2.2.2 検査井戸
 - 2.2.3 検査・修理孔の蓋
 - 2.2.4 検査・修理孔の階段・はしご
 - 2.2.5 ポンプステーション
 - 2.2.6 圧力排出
 - 2.2.7 真空排出
 - 2.2.8 溢出装置
 - 2.2.9 雨水収集タンク・部品
 - 2.2.10 雨水溢出タンク
 - 2.2.11 雨水滞留タンク
 - 2.2.12 雨水沈殿池
 - 2.2.13 雨水浸出・保持
 - 2.2.14 雨水排出濾過網
 - 2.2.15 雨水タンク清掃システム
 - 2.2.16 防護塗料・材料
 - 2.2.17 水量計室
- 2.3 排水口
- 2.4 部品
 - 2.4.1 閉鎖装置・弁
 - 2.4.2 逆止弁
 - 2.4.3 通気口・通気弁
 - 2.4.4 流量制御器
 - 2.4.5 管理設備
 - 2.4.6 管理計測機器
 - 2.4.7 水流制御弁
 - 2.4.8 管道切削装置
 - 2.4.9 排液バルブ
 - 2.4.10 水量計システム
- 2.5 密封装置
- 2.6 防腐食装置
- 2.7 メンテナンス・洗浄
- 2.8 飲料水水槽 建設・修復

3 水資源管理における機械工程と設備工程

- 3.1 ポンプ、くみ上げシステム
- 3.2 プロセス測量・規制技術
 - 3.2.1 測量技術
 - 3.2.2 規制技術
- 3.3 機械装置と規制技術

- 3.4 電気装置
- 3.5 輸送事業
- 3.6 その他装置と部品

4. 水利事業

- 4.1 水域保護・開発・保守
 - 4.1.1 水域モニタリング
 - 4.1.2 汚染水域処理設備
 - 4.1.3 河川・湖沼の曝気施設
 - 4.1.4 藻類発生防止施設
 - 4.1.5 藻類発生防止剤
 - 4.1.6 浚渫船
- 4.2 洪水防止、海岸保護
- 4.3 灌漑・排水技術
 - 4.3.1 スプリンクラー灌漑
 - 4.3.2 点滴灌漑
 - 4.3.3 排水機械・設備
 - 4.3.4 部品
 - 4.3.5 その他設備・機械

5. ゴミ管理・回収

- 5.1 ゴミ収集と運搬
 - 5.1.1 ゴミ中継ステーション設備
 - 5.1.2 ゴミ容器
 - 5.1.3 バケット
 - 5.1.4 ゴミ圧縮機
 - 5.1.5 ダンプカー用コンテナ
 - 5.1.6 圧搾空気式輸送機
 - 5.1.7 コンテナ運搬車
 - 5.1.8 コンテナ保管システム
- 5.2 輸送車・輸送車荷台構造
- 5.3 ゴミ処理・回収
 - 5.3.1 分別
 - 5.3.2 分別装置
 - 5.3.3 破砕機
 - 5.3.4 攪拌機
 - 5.3.5 乾燥機
 - 5.3.6 圧縮機
 - 5.3.7 漏斗・輸送機・測定設備
- 5.4 生物処理・堆肥
 - 5.4.1 静的堆肥器
 - 5.4.2 動的堆肥器
 - 5.4.3 干し草堆肥設備（及び攪拌機）
 - 5.4.4 曝気設備
 - 5.4.5 スプリンクラー設備
 - 5.4.6 廃ガス濾過設備
 - 5.4.7 袋詰め設備
 - 5.4.8 添加剤
- 5.5 ゴミ埋立場
 - 5.5.1 密封剤と密封資材
 - 5.5.2 被覆材料
 - 5.5.3 ダンプカー用コンテナ
 - 5.5.4 濾過液検査・収集
 - 5.5.5 圧縮機
 - 5.5.6 メタン収集・利用
 - 5.5.7 ブルドーザー
 - 5.5.8 車輪式積載機
 - 5.5.9 紙捕集柵・網
 - 5.5.10 タイヤ洗浄設備
 - 5.5.11 車輪・ベルト式掘削機
 - 5.5.12 ゴミ浸透液処理
 - 5.5.13 ゴミ埋立場建設
 - 5.5.14 ゴミ埋立場修復

- 5.6 再生資源回収利用技術・設備、廃材処理・利用
- 5.6.1 鉄鋼廃材
- 5.6.2 廃棄非鉄金属
- 5.6.3 廃プラスチック
- 5.6.4 廃紙
- 5.6.5 廃タイヤ・ゴム
- 5.6.6 廃棄電器電子製品
- 5.6.7 動力用蓄電池
- 5.6.8 建設ゴミ
- 5.6.9 廃棄自動車
- 5.6.10 廃棄紡績品
- 5.6.11 その他廃棄物
- 5.7 工業固形廃棄物の総合利用
- 5.8 労働安全防護

6 廃棄物のエネルギー化、資源化

- 6.1 メタン装置・利用
- 6.1.1 コンテナ建造
- 6.1.2 攪拌技術
- 6.1.3 混合物抽出システム
- 6.1.4 加熱技術
- 6.1.5 絶縁
- 6.1.6 プラント製造業
- 6.1.7 安全技術
- 6.1.8 接続システム
- 6.2 ゴミ焼却
- 6.2.1 分解装置・設備
- 6.2.2 資材積卸し・保管
- 6.2.3 資材搬入・計量システム
- 6.2.4 廃残渣処分・利用
- 6.2.5 排煙浄化残渣処理
- 6.2.6 排熱利用
- 6.2.7 オンラインモニタリング・管理システム
- 6.3 埋立ガス利用
- 6.4 畜産廃棄物の資源利用
- 6.5 食品ゴミ資源化利用
- 6.6 バイオマスエネルギー利用・発電

7 都市道路整備・メンテナンス

8 土地、土壌修復

- 8.1 汚染土壌・地下水の登記・評価・モニタリング
- 8.2 汚染土壌処理
- 8.2.1 土壌修復対策、修復事業設計・施工
- 8.2.2 土壌修復機能材料（薬剤）
- 8.2.3 土壌修復技術・設備
- 8.2.4 土壌検査分析
- 8.2.5 土壌修復プロセスモニタリング・サービス
- 8.3 土壌改良
- 8.4 汚染地下水管理

9 大気汚染対策、排煙浄化・換気

- 9.1 除塵
- 9.1.1 バグフィルタ除塵
- 9.1.2 機械式除塵システム
- 9.1.3 湿式除塵システム
- 9.1.4 電気式除塵システム
- 9.1.5 粉塵抑制技術

- 9.1.6 濾過材・濾過フィルタ
- 9.1.7 電力規制装置
- 9.1.8 バルブ・部品
- 9.1.9 安全、曝露防止
- 9.2 VOC対策
- 9.2.1 最先端規制技術
- 9.2.2 エンドオブパイプ・回収利用
- 9.2.3 VOCオンラインモニタリング
- 9.2.4 部品
- 9.3 脱硫・脱硝
- 9.4 複数汚染物共同対策
- 9.5 超低排出技術
- 9.6 脱臭技術

10 騒音・振動対策

11 環境サービス

- 11.1 給水・汚水処理サービス
- 11.2 廃棄物回収・処分サービス
- 11.2.1 物流・収集・輸送
- 11.2.2 処分・分類管理
- 11.2.3 廃棄物処理・利用
- 11.2.4 再生資材生産・販売
- 11.2.5 下水道・都市道路清掃
- 11.3 再生資材サプライヤ
- 11.4 地域・流域の生態環境修復
- 11.5 第三者汚染対策
- 11.6 コンサル・工程サービス
- 11.7 コンサル管理・手配
- 11.8 専門プラットフォーム・産業団地
- 11.9 情報技術

12 環境モニタリング・検査

- 12.1 分析・実験室技術
- 12.1.1 実験室設備
- 12.1.2 測量機器
- 12.1.3 分析実験室
- 12.1.4 レーザースペクトル学
- 12.1.5 放射性測定
- 12.1.6 重量計測技術
- 12.1.7 X線蛍光スペクトル
- 12.2 環境モニタリング技術・設備

13.教育・科学研究・技術移転

- 13.1 職業研修・継続研修
- 13.2 大学
- 13.3 研究機関
- 13.4 産業協会・機関
- 13.5 メディア